

医学のあゆみ

第286巻・総目次

2023年7月～9月

イタリックの数字は頁，①～④は号数を示します
(著者名の漢字は原則としてJISコードの範囲で表記してあります)

●あゆみ欄 AYUMI ●

◇オキシトシンの向精神作用と精神疾患治療応用への展望

- はじめに (門司 晃) 131②
オキシトシンの神経機能解剖学 (上田陽一・丸山 崇) 133②
ミクログリアにおけるオキシトシンの病態的役割 (前島裕子) 138②
統合失調症とオキシトシン作動性システム障害 (仲田祐介・他) 143②
オキシトシン経鼻投与の応用による自閉スペクトラム症中核症状治療薬の開発 (山末英典) 149②
信頼におけるオキシトシンの役割 (李 述冰・高岸治人) 153②
行動障害を伴う知的・発達障害児(者)とオキシトシン (會田千重) 159②
高齢者の精神的健康を維持するために——オキシトシンに着目して (溝口義人) 163②

◇ヒト細胞アトラスプロジェクトの現在地

- はじめに (Jay W. Shin・安藤吉成) 185③
Overview of the Human Cell Atlas project (Jennifer E. Rood・安藤吉成) 187③
Human Cell Atlasの拡大——日本からの貢献 (韓 鍾嶸・安藤吉成) 193③
Human Cell Atlasにおける倫理と公平性に基づく試料の取得とデータ共有のための取り組み (楠瀬まゆみ) 197③
最新のシングルセル解析とその応用 (鹿島幸恵・鈴木 稯) 202③
機械学習を用いたシングルセル・空間的遺伝子発現の解析 (清田 純) 209③
シングルセル情報とゲノム情報の統合解析によるCOVID-19重症化メカニズムの解明 (枝廣龍哉・他) 213③

◇古代ゲノム学と医学の交差点

- はじめに (瀬口典子) 247④

- 古代ゲノム学と進化医学 (太田博樹) 249④
感染症学と古代ゲノム学の接点——古人骨研究の視点 (長岡朋人) 255④
古代から現代へと受け継がれてきた生活習慣病遺伝子 (中山一大・夏 添) 259④
古代人ゲノムと皮膚色関連多型 (中 伊津美) 265④
アルコール代謝関連遺伝子の多様性を現代人および古代人ゲノムから探る (小金潤佳江) 270④
古代人ゲノムからの表現型復元 (木村亮介) 274④
狩猟採集から農耕への生業変化——そのダークサイドを考える (水野文月) 278④

◇がんオルガノイド——創薬・個別化医療の革新的プレクリニカルモデルとして

- はじめに (齋藤義正) 623⑦⑧
脳腫瘍研究におけるオルガノイドモデルの現状と今後の可能性 (山崎慎太郎・他) 625⑦⑧
甲状腺がん患者由来オルガノイドの樹立 (星野大輔・齋藤菜緒) 631⑦⑧
患者由来肺がんオルガノイドの研究利用と臨床応用 (高岡初誉・安田浩之) 636⑦⑧
がん細胞とがん関連線維芽細胞(CAF)を用いた混合乳がんオルガノイド (竹内康人・後藤典子) 641⑦⑧
胃がん、大腸がん (坂本直也) 646⑦⑧
胆道・膵臓がんオルガノイドを用いた個別化医療の実現に向けて (齋藤義正) 649⑦⑧
神経内分泌腫瘍オルガノイド、樹立とその応用 (川崎健太) 653⑦⑧
患者由来オルガノイドを用いた婦人科がんの橋渡し研究 (丸 喜明・筆宝義隆) 661⑦⑧

◇覚醒下手術の最前線——臨床的意義と神経科学

- はじめに (三國信啓) 693⑨
覚醒下手術の歴史と適応 (成田善孝) 695⑨
運動機能温存における覚醒下手術の臨床的意義 (齋藤太一) 699⑨
言語機能温存を目指した lower grade glioma に対する覚醒下手術——臨床的意義と神経科学

高次脳機能を温存する覚醒下手術	(本村和也・齋藤竜太)	707⑨
——臨床的意義と神経科学	(中田光俊)	714⑨
覚醒下手術の麻酔管理	(茶木友浩・山藤道明)	718⑨
覚醒下手術におけるリハビリスタッフの役割		
——現状と今後の課題	(二村美也子・藤井正純)	723⑨

◇多嚢胞性卵巣症候群 UPDATE

——病態を理解しライフステージに応じた管理を考える		
はじめに	(原田美由紀)	877⑩
PCOSの病態の捉え方	(草本朱里・原田美由紀)	879⑩
診断基準の考え方	(岩佐 武・他)	883⑩
【ライフステージごとの課題】		
思春期 PCOSの診断, 管理とプレコンセプション		
ケア	(大須賀智子・三宅菜月)	887⑩
多嚢胞性卵巣症候群(PCOS)に対する新しい排卵		
誘発法の開発——卵巣過剰刺激症候群(OHSS)		
を完全に発生させず, さらに良質な卵子を发育		
させる方法	(田中 温・佐藤達也)	891⑩
PCOSの周産期管理——そのリスクとプレコン		
セプション管理	(熊澤恵一)	903⑩
中高年期 PCOS 女性のヘルスケア		
	(岩瀬 明・他)	907⑩

◇AKI-to-CKD transition

はじめに	(三村維真理)	939⑫
AKI と CKD のクロストーク		
	(北井悠一郎・柳田素子)	940⑫
AKI-to-CKD transition に対する新たな治療標的		
としての epigenetic memory の可能性	(種本史明・他)	943⑫
腎尿細管細胞の動態からみた AKI-to-CKD		
transition	(田口顕正・深水 圭)	948⑫
近位尿細管上皮細胞の細胞老化と AKI-to-CKD		
transition	(岸 誠司)	953⑫
オートファジーによる AKI-to-CKD transition に		
対する治療応用	(南 聡・他)	958⑫
AKI および AKI-to-CKD transition に対する		
一酸化炭素デリバリ―システムの有効性	(前田仁志・他)	964⑫

◇美容医療の現状における問題点と解決への取り組み

はじめに	(朝戸裕貴)	1001⑬
美容医療に関する厚生労働科学研究事業(美容医療		
合併症実態調査と診療指針作成)の経緯と意義		
	(大慈弥裕之)	1003⑬
美容医療における健康保険と医療賠償責任保険		
	(細川 互)	1009⑬
美容医療の問題点と課題解決のために何をすべきか?		
——日本美容外科学会(JSAPS)の立場から	(武田 啓)	1015⑬

日本美容外科学会(JSAS)の立場から美容医療の		
問題解決に向けた挑戦	(鎌倉達郎)	1021⑬
美容医療の現状における問題点と解決の取り組み		
——日本美容皮膚科学会会員の立場から	(山田秀和)	1027⑬
美容医療の問題点と解決への取り組み		
——公益社団法人日本美容医療協会の立場から	(青木 律)	1031⑬

● TOPICS ●

〔再生医学〕

有効期間を超過した血小板製剤の有効活用—— <i>ex vivo</i>		
細胞増幅に用いる platelet lysate の開発		
	(秋野光明・若本志乃舞)	728⑨
骨格筋幹細胞の幹細胞性維持機構——休止期維持		
メカニズムを中心に	(藤田 諒)	913⑩

〔生理学〕

脱ストレスによるミクログリア抑制作用		
	(洲鎌秀永)	666⑦⑧

〔生化学・分子生物学〕

ミトコンドリアから細胞核への逆行性シグナル		
によるエンハンサーリモデリング		
	(日野裕子・他)	171②

〔細菌学・ウイルス学〕

バイオフィルムにおける黄色ブドウ球菌の薬剤		
耐性獲得	(森川一也)	284④

〔免疫学〕

循環型 iNKT 細胞による抗ウイルス・抗腫瘍		
応答の制御	(崔 广为・生田宏一)	220③
免疫抑制性 PD-1 アゴニスト抗体による炎症性		
疾患の制御	(太田明夫)	667⑦⑧

〔糖尿病・内分泌代謝学〕

骨格筋損傷からの回復過程において M2 マクロ		
ファージの除去は回復を促進する		
	(戸邊一之・他)	911⑩

〔アレルギー学〕

アンドロゲンによる Th2 細胞と気道炎症の抑制		
	(江島亜希・生田宏一)	219③

〔腎臓内科学〕

シングルセル解析からわかる好塩基球と尿細管の		
相互作用を介した腎線維化進展機構		
	(道家智仁)	729⑨

〔脳神経外科学〕

神経膠腫の分子診断——最新の動向	(秦 暢宏)	1036⑬
------------------	--------	-------

〔輸血学〕

次世代製剤として期待される冷蔵保存血小板		
	(小池敏靖)	978⑫

〔麻酔科学〕

手術中の筋弛緩モニターは術後肺炎を減らすための		
必須アイテム	(高木俊一)	282④

〔神経精神医学〕

精神皮膚科学	(羽白 誠)	1037⑬
--------	--------	-------

〔皮膚科学〕

顧みられない熱帯病：ブルーリ潰瘍（内海大介） 169②

〔医療行政〕

こども家庭庁と少子地域医療（伊藤隆一） 979⑫

●連載●

◇救急で出会ったこんな症例

——マイナーエマージェンシー対応のススメ

13. 皮下異物，筋肉内異物診療の実際——異物
迷入をどうするか？（安藤治朗・松村福広） 223③

14. ヘビ咬傷のあれこれ：鑑別編2——ヤマカガシ，
シマヘビ，ジムグリ（間藤 卓） 286④

15. 切迫骨折という言葉を知っていますか？
——見落とせない四肢転移性骨腫瘍による
切迫骨折（檜山秀平・松村福広） 669⑦⑧

16. 胸骨骨折：保存治療後偽関節
（檜山秀平・松村福広） 731⑨

17. 肋骨骨折とこわい気胸と血胸
（二部悦也・松村福広） 915⑪

18. 見逃してはいけない腰背部痛——転移性脊椎
腫瘍の診断から治療（山中卓哉・松村福広） 981⑫

19. ヘビ咬傷のあれこれ：治療編——マムシ咬傷を
中心に（間藤 卓） 1039⑬

◇医療システムの質・効率・公正

——医療経済学の新たな展開

4. 地域医療計画・地域包括ケアシステムと
その将来（松田晋哉） 173②

5. 医療において高齢者や複合課題をもつ世帯は
経済的に保護されているのか（佐々木典子） 231③

6. インフォーマルケアと医療・介護の自己負担
（中部貴央） 292④

7. DPC データと包括評価制度
——これまでとこれから（伏見清秀） 675⑦⑧

8. 日本における薬価制度と医療経済——医療保険
財政の持続性向上と幅広く迅速な保険償還を目的
とした設計と課題克服のための方向性
（中村 洋） 737⑨

9. ワクチンデータベースを用いたワクチンの
有効性・安全性の科学的検証（福田治久） 921⑪

10. 医療・介護の経営人材育成と組織文化
（田中将之・今中雄一） 989⑫

11. 医療と健康づくりにおける費用対効果研究
（池田俊也） 1047⑬

◇遺伝カウンセリング——その価値と今後

はじめに（櫻井晃洋） 1051⑬

1. 遺伝カウンセリングの歴史（山本佳世乃） 1052⑬

●フォーラム●

◇病院建築への誘い

——医療者と病院建築のかかわりを考える

特別編——感染症対策と建築⑦（亀谷佳保里） 298④

◇日本型セルフケアへのあゆみ

21. ChatGPT の可能性と危険性：

ハルシネーション問題（児玉龍彦） 743⑨

◇後悔しない医学英語論文の投稿に向けて

——Editor の視点から

1. 論文投稿に際してのパラダイムシフト①
（笹野公伸） 179②

2. 論文投稿に際してのパラダイムシフト②
（笹野公伸） 241③

3. 自身の論文の投稿先はどこにすればよいのか？
（笹野公伸） 303④

4. 論文の門前払い（トリアージ）を避けるには？
（笹野公伸） 685⑦⑧

5. 査読への対応①（笹野公伸） 748⑨

6. 論文の査読への対応②（笹野公伸） 932⑪

◇数理解理解する発がん

1. 発がんのプロセス（中林 潤） 237③

2. 確率論の基礎・初等確率（中林 潤） 681⑦⑧

3. 確率論の基礎・連続型の確率変数（中林 潤） 994⑫

◇戦後の国際保健を彩った人々

1. 須藤昭子——ハイチのマザーテレサ（山本太郎） 929⑩

◇世界の食生活

はじめに（野林厚志） 1057⑬

1. カンガルーの冷凍しっぽ——中央砂漠に暮らす
アボリジニの“伝統食”（平野智佳子） 1058⑬

●書評●

『在宅ケアの悩みごとと解決マップ——ケースで
現場の問題「見える化」します』（堂園俊彦・
角田ますみ・北西史直・中村美智太郎 編著）
（草場鉄周） 689⑦⑧

『在宅ケアの悩みごとと解決マップ——ケースで
現場の問題「見える化」します』（堂園俊彦・
角田ますみ・北西史直・中村美智太郎 編著）
（三木明子） 751⑨

『トリプルネガティブ乳癌 Q & A』（大野真司・
戸井雅和 編）（井本 滋） 935⑪

●第1土曜特集●

◇ARDS の治療戦略——個別化診療への道筋

はじめに（竹内宗之） 1①

■総論・メカニズム

ARDS の歴史と定義	(橋本 悟)	4①
ARDS の疫学	(倉橋清泰)	11①
ARDS の生物学的病態機序——個別化治療に向けて	(東條健太郎)	17①

■診断と鑑別

CT——病態の理解～予後予測まで	(一門和哉)	24①
ARDS の診断をどう進めるか	(岡森 慧)	30①

■肺傷害のメカニズムと人工呼吸管理

【現在の診療ガイドラインおよびその根拠となる呼吸生理学とエビデンス】

「ARDS 診療ガイドライン 2021」解説	(岸原悠貴・安田英人)	38①
------------------------	-------------	-----

Stress, Strain と肺保護換気	(伊東幸恵・竹内宗之)	46①
-----------------------	-------------	-----

PEEP と Recruitability	(中山龍一・文屋尚史)	51①
ARDS の不均一な換気分布と重力の関係		

——腹臥位療法, 肺リクルートメント, CNAP	(星野太希・吉田健史)	58①
--------------------------	-------------	-----

ECMO	(緒方嘉隆)	64①
------	--------	-----

【今後の診療ガイドラインに影響を及ぼす可能性のある呼吸生理学とエビデンス】

メカニカルパワー	(島谷竜俊)	71①
横隔膜機能不全と横隔膜保護換気	(木庭 茂)	75①

ARDS で生じる気道閉塞(airway closure)とは?		
——肺泡だけではなく気道を意識した管理の必要性	(中澤太一・則末泰博)	82①

EIT で評価する不均一換気	(庄野敦子)	91①
----------------	--------	-----

■その他の治療

ARDS に対する間葉系幹細胞治療	(田坂定智)	98①
Precision medicine と薬剤治療	(片岡 惇)	103①
ARDS と右心機能	(徳平夏子)	109①

■社会復帰・その他

ARDS とアウトカム	(堀江勝博・一二三 亨)	116①
ARDS 患者のリハビリテーション	(玉木 彰・大島洋平)	123①

◇統合失調症の未来——研究と治療

はじめに	(福田正人・村井俊哉・笠井清登)	497⑥
------	------------------	------

■総論

当事者の声——臨床医と研究者に伝えたいこと	(山田悠平)	500⑥
-----------------------	--------	------

統合失調症とはどういうことか	(村井俊哉)	505⑥
統合失調症のスティグマと社会参加	(山口創生・大石 智)	511⑥

統合失調症の脳病態解明の到達点・未達成点		
——取り組むべきこと	(柳下 祥・笠井清登)	517⑥

■分子病態

統合失調症の分子遺伝学	(富岡有紀子・沼田周助)	530⑥
-------------	--------------	------

ドパミン受容体を標的とした統合失調症治療薬		
——構造生物学からの洞察		

(林 到炫・岩田 想)	537⑥
統合失調症のエピゲノムを標的とした治療薬	
(向井 淳・福田菜由)	545⑥

■トランスレーショナル研究

統合失調症の分子生物学・トランスレーショナル研究	(南学正仁・他)	556⑥
--------------------------	----------	------

統合失調症の動物モデル・トランスレーショナル研究	(熊谷友梨香・神出誠一郎)	561⑥
--------------------------	---------------	------

統合失調症の MRI 脳画像トランスレーショナル研究	(田中謙二・阿部欣史)	565⑥
----------------------------	-------------	------

■脳ネットワーク

統合失調症の階層性データ解析	(小池進介)	570⑥
サリエンスと精神症・統合失調症	(宮田 淳)	577⑥

統合失調症における脳内意味ネットワーク異常と		
連合弛緩	(松本有紀子・高橋英彦)	583⑥

計算論的精神医学——統合失調症の病態理解のための		
新たなフレームワーク	(山下祐一)	588⑥

■臨床

統合失調症の神経認知機能と社会認知機能	(橋本直樹)	596⑥
---------------------	--------	------

ライフステージに注目した統合失調症への心理		
社会的支援——AYA 期を中心に	(金田 渉)	601⑥

統合失調症の空間疫学——都市性の環境要因	(澤井大和・中谷友樹)	608⑥
----------------------	-------------	------

統合失調症の治療ガイドと学会の未来		
——共同創造を通じた研究と治療の橋渡し	(福田正人・他)	614⑥

◇人生 100 年時代を見据えてがんと生活習慣病(心疾患/糖尿病/CKD/MAFLD)を再考する——共通リスク因子、予防・治療の最新アプローチ

はじめに	(益崎裕章)	755⑩
------	--------	------

■慢性疾患とがん

糖尿病とがん——疫学と国際動向	(添田光太郎・植木浩二郎)	758⑩
-----------------	---------------	------

糖尿病とがん——分子メカニズム解明の最前線	(桜井賛孝・山内敏正)	763⑩
-----------------------	-------------	------

糖尿病治療薬とがんリスク	(川北恵美・金崎啓造)	769⑩
--------------	-------------	------

肥満症とがん——病態連関・鍵となる分子イベント	(喜多俊文・下村伊一郎)	777⑩
-------------------------	--------------	------

Onco-Cardiology——がんと心血管疾患が共有する		
危険因子、機序、直接的な相互作用	(門脇 裕・他)	783⑩

慢性腎臓病(CKD)とがん——疫学・病態解明の進歩	(金子恵一・他)	789⑩
---------------------------	----------	------

がん治療における腎障害(大張靖幸・久米真司)		795⑩
MAFLD とがん——SGLT2 阻害薬の可能性	(堤 翼・他)	804⑩

■生活習慣・食習慣とがん		
喫煙習慣に関連するがん——肺がんにおける		
疫学・病態を中心に	(古堅 誠・山本和子)	812⑩

がんと微生物との関連を免疫・環境要因から考察する ——病態解明の進歩	(内藤裕二)	817 ¹⁰
身体活動量低下とがん発症の関連	(門脇 聡・他)	825 ¹⁰

塩分過剰摂取とがん発症の関連 ——最新知見と病態解明	(長澤 肇・他)	831 ¹⁰
赤身肉・加工肉・超加工食品の過剰摂取と 発がんリスク	(脇 昌子)	837 ¹⁰
心身ストレスとがん発症との関連	(角谷 学・小山英則)	844 ¹⁰

■トピックス

女性における閉経後肥満とがんの病態連関	(川合汐里・橋本貢士)	850 ¹⁰
生活習慣病とがん——病態モデルマウスからの 最新知見	(竹田安孝・熊代尚記)	855 ¹⁰
肥満症に対する減量介入とがんリスク低減 ——適切な減量治療の確立への課題	(北本 匠・横手幸太郎)	860 ¹⁰
Metabolic Oncology——糖尿病と血液悪性腫瘍	(仲地佐和子・他)	867 ¹⁰

●第5土曜特集●

◇生体イメージングの最前線

——絶え間ない技術革新と生命医科学の新展開 はじめに	(石井 優)	309 ⁵
-------------------------------	--------	------------------

■技術・機器の進歩

光学顕微鏡を用いた生体蛍光イメージング技術の 進歩	(坂本 丞・他)	312 ⁵
広視野二光子励起ライトシート顕微鏡による生物 個体のライブイメージング	(齋藤 卓・他)	318 ⁵
マウス生体内イメージングに向けたツール開発	(寺井健太・松田道行)	324 ⁵
蛍光タンパク質プローブによる細胞間相互作用の 可視化	(京 卓志・他)	329 ⁵
生命機能を可視化するさまざまな化学蛍光プローブ	(蓑島維文・菊地和也)	337 ⁵

■イメージングで神経活動を解析する

イメージングを駆使したシナプス情報伝達の解明	(柏木有太郎・岡部繁男)	344 ⁵
広視野高速二光子励起顕微鏡 FASHIO-2PM による 大脳皮質ネットワークの <i>in vivo</i> イメージング	(太田桂輔・村山正宜)	351 ⁵
成体脳で新生するニューロンが、睡眠中に恐怖記憶を 固定化する	(菅谷佑樹・坂口昌徳)	359 ⁵
発達期の樹状突起刈り込みを制御するシナプス 競合のメカニズム	(藤本聡志・今井 猛)	365 ⁵
神経回路機能解析のための細胞種特異的な標識と 光学イメージング	(竹内遼介・小坂田文隆)	372 ⁵
シナプスイメージングを基軸とした精神病態の 多階層理解	(林(高木)朗子)	380 ⁵
ホログラフィック光学技術を駆使した神経回路 研究	(和氣弘明・他)	387 ⁵

■イメージングで免疫系や生体恒常性を解析する 骨・免疫系の生体イメージング研究

	(佐藤和真・他)	392 ⁵
皮膚の生体イメージング研究	(江川形平・梶島健治)	399 ⁵
蛍光イメージングにより明かされるリンパ節の 動的細密構造	(片貝智哉)	406 ⁵
光変換蛍光タンパク質発現マウスを用いた <i>in situ</i> 光ラベルを駆使した新規免疫学研究アプローチ	(戸村道夫)	413 ⁵
腸管免疫の生体イメージング	(筋野智久)	421 ⁵
腸内炎症と好中球/マクロファージのイメージング 解析	(本田正樹)	426 ⁵
臓器内“zone”による空間的に不均一な免疫制御	(宮本 佑)	432 ⁵
血管・血栓形成のイメージング	(坂田飛鳥)	438 ⁵
生体イメージングを用いた腎疾患の病態解析	(角谷裕之)	446 ⁵
呼吸器系感染症の生体イメージング——二光子 生体イメージングでみるウイルス感染肺	(植木紘史・河岡義裕)	455 ⁵

■新規解析・診断技術の動向

生体イメージングの画像解析	(瀬尾茂人・長村 徹)	462 ⁵
生体イメージングとシングルセルオミックスの 統合解析	(内田 稔)	467 ⁵
生体イメージング技術を用いた切らないがん 組織診断	(松井崇浩)	474 ⁵
生体イメージングによる切らない皮膚診断	(江川形平)	482 ⁵
“蛍光ガイド手術”はすでに実現している	(石沢武彰・他)	489 ⁵

◇内視鏡医学のすべて

——各領域における診断・治療の進歩

■消化器内科

頭頸部・食道癌に対する内視鏡診断と治療における 進歩と展望	(堅田親利・他)	1064 ¹⁴
胃・十二指腸腫瘍に対する診断・治療の進歩と 今後の展望	(水谷浩哉・他)	1072 ¹⁴
胃・十二指腸非腫瘍性疾患における内視鏡診断の 進歩と展望	(鎌田智有)	1079 ¹⁴
小腸病変に対する内視鏡診断・治療の進歩と 今後の展望	(壺井章克・他)	1084 ¹⁴
大腸腫瘍に対する内視鏡診断・治療の進歩と 今後の展望	(豊嶋直也・斎藤 豊)	1091 ¹⁴
胆・膵腫瘍に対する内視鏡診断・治療の進歩と 今後の展望	(南 裕人・他)	1099 ¹⁴
胆・膵良性疾患に対する内視鏡診断・治療の進歩と 今後の展望	(谷坂優樹・良沢昭路)	1105 ¹⁴
内視鏡的全層切除術・縫合法および粘膜下層内視鏡の 最新の進歩——“内視鏡的外科手術(A-FES)”への道程		

	(井上晴洋)	1112 ^⑭	呼吸器診療におけるクライオの位置づけ	(丹羽 崇)	1216 ^⑭
■消化器外科			呼吸器領域における低侵襲手術の歴史と実際	(須田 隆)	1219 ^⑭
手術機器の進歩が切り拓いた現在の内視鏡外科			気管支鏡治療	(中島崇裕)	1227 ^⑭
および今後の展望	(二宮繁生・猪股雅史)	1118 ^⑭	■循環器		
内視鏡外科手術における遠隔手術・教育の進歩	(奥谷浩一・他)	1126 ^⑭	急性冠症候群の病態と不安定プラーク	(國分裕人・他)	1236 ^⑭
胸部食道癌に対する内視鏡下手術の進歩			冠動脈ステント留置後の血管反応	(石原隆行)	1242 ^⑭
——ロボット支援食道切除・胃管再建術	(小熊潤也・他)	1130 ^⑭	大動脈内視鏡が示唆する新しい疾患概念	(小嶋啓介)	1246 ^⑭
胃癌に対する内視鏡手術の進歩	(小瀨和貴)	1136 ^⑭	生体内肉眼病理としての血管内視鏡	(臺 和興・塩出宣雄)	1251 ^⑭
大腸癌に対する内視鏡手術の治療戦略と今後の展望	(井川勇人・絹笠祐介)	1142 ^⑭	■神経		
低侵襲肝切除——腹腔鏡およびロボットを用いたアプローチ	(加藤悠太郎)	1148 ^⑭	神経内視鏡を用いた水頭症の手術	(中島 円)	1260 ^⑭
膵臓を対象とした内視鏡手術の進歩	(渡邊雄介・他)	1155 ^⑭	内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術の進歩と展望	(田原重志)	1265 ^⑭
■産科婦人科			内視鏡下キーホール手術	(渡邊 督)	1272 ^⑭
子宮鏡手術の新たな展開	(齋藤寿一郎)	1166 ^⑭	神経内視鏡による脳血管障害の外科治療	(吉岡秀幸・木内博之)	1278 ^⑭
骨盤臓器脱に対する腹腔鏡手術とロボット支援手術の現状	(平池 修)	1173 ^⑭	■泌尿器		
子宮内膜症における内視鏡手術	(竹林明枝・他)	1178 ^⑭	尿路結石に対する最新の内視鏡治療	(海野 怜・安井孝周)	1286 ^⑭
子宮体癌の内視鏡手術			わが国における新規手術支援ロボットの導入とその特徴	(森實修一・武中 篤)	1290 ^⑭
——ロボット支援手術を含む	(寺井義人)	1184 ^⑭	泌尿器科におけるロボット支援手術の現状	(日向信之)	1297 ^⑭
子宮頸癌の内視鏡手術			前立腺肥大症に対する最新の低侵襲的外科治療	(舩森直哉)	1301 ^⑭
——現状と将来展望	(京 哲)	1190 ^⑭	尿路上皮癌に対する光力学診断を用いた尿路内視鏡手術	(三宅牧人・藤本清秀)	1307 ^⑭
■呼吸器					
中枢気道病変の診断	(内村圭吾)	1198 ^⑭			
個別化医療を見据えた末梢肺病変の気管支鏡診断	(高島雄太)	1204 ^⑭			
超音波気管支鏡ガイド下針生検(EBUS-TBNA)					
——肺門・縦隔病変に対するアプローチ	(立原素子)	1210 ^⑭			

* * *